学校番号	2003

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	日Ａ３１４　現代の日本史(山川出版社)						
副教材等	新説日本史（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「世界史」と「地域史」の視点を重視する。
各章の時代の世界や東アジアの動向を日本史とともに学習する。

2　学習の到達目標

1．日本前近代の歴史をふまえ，近現代史を事実に基づき把握し，歴史の構造とその変化を理解する。
2．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び，歴史的思考力を養う。
3．日本の歴史を世界の動きと関連して把握し，国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を，国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 実力課題	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 実力課題	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 実力課題	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 実力課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第１章 近代国家と社会の形成 第２章 二つの戦争と大日本帝国 第３章 帝国とデモクラシー	①欧米諸国のアジア進出，幕末の変動，明治政府の成立と諸改革，自由民権運動と立憲体制の成立，文明開化など，開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程を理解させる。 ②条約改正や日清･日露戦争前後の対外関係の変化，産業革命の進行，社会問題の発生，教育の普及，都市社会の整備などに着目して，19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開を理解させる。 ③第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響，ワシントン体制の成立と日本の対応，大正デモクラシーのはじまり，日本の植民地の動向など，1910 年代の近代史の展開を理解させる。	○		○	○	a:①開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程に対する関心と課題意識、②19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開に対する関心と課題意識、③1910 年代の近代史の展開に対する関心と課題意識、上記①～③を高め，意欲的に追究している。 b:①開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程、②19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開、③1910 年代の近代史の展開、上記①～③から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:①開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程、②19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開、③1910 年代の近代史の展開、上記①～③に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:①，開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程についての基本的な事柄，②19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開についての基本的な事柄，③1910 年代の近代史の展開についての基本的な事柄，上記①～③を国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査

2学期	第4章デモクラシーの展開と帝国の変容 第5章アジアの戦争と第二次世界大戦 第6章現代日本の源流	①大正デモクラシーの展開のなかでの社会主義運動や労働運動などの活発化，政党政治の推移，関東大震災の影響，大衆文化の形成と社会の変化，大陸政策の転換，昭和恐慌への対応など，1920 年代の近代史の展開を理解させる ②満州事変，昭和恐慌後の社会と国家主義思想の台頭，日中戦争の長期化と総動員体制の構築，アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会，植民地の動向など，満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開を理解させる。 ③国際連合の成立と冷戦の開始，アメリカによる占領政策と諸改革，日本国憲法の制定，朝鮮戦争，日本の独立回復と沖縄，平和運動の展開，50 年代の社会と文化など，50 年代までの戦後史の展開を理解させる。	○	○		○	a:①1920 年代の近代史の展開、②満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開、③50 年代までの戦後史の展開、上記①～③に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究している。 b:①1920 年代の近代史の展開、②満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開、③50 年代までの戦後史の展開、上記①～③から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:①1920 年代の近代史の展開に関する諸資料、②満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開に関する諸資料、③50 年代までの戦後史の展開に関する諸資料、上記①～③を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:①1920 年代の近代史の展開についての基本的な事柄，②満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開についての基本的な事柄、③50 年代までの戦後史の展開についての基本的な事柄、上記①～③を国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 実力課題

3学期	第7章 冷戦のなかの経済成長 第8章 現代の日本	①日韓基本条約の締結と意義，ヴェトナム戦争，沖縄返還と日中国交正常化，高度経済成長と生活の変化，公害の発生，住民運動と革新自治体，石油危機を経た経済大国化と日米同盟，家族のかたちや働き方の変化など，80年代までの戦後史の展開を理解させる。 ②冷戦体制と55年体制の終焉，経済のグローバル化の進展，そして21世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向を理解させる。		○	○	○	a:①80年代までの戦後史の展開。②冷戦体制と55年体制の終焉，経済のグローバル化の進展，そして21世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向、上記①・②に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究している。 b:①80年代までの戦後史の展開、②冷戦体制と55年体制の終焉，経済のグローバル化の進展，そして21世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向、上記①・②から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:①80年代までの戦後史の展開、②冷戦体制と55年体制の終焉，経済のグローバル化の進展，そして21世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向、上記①・②に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: ①80年代までの戦後史の展開、②冷戦体制と55年体制の終焉，経済のグローバル化の進展，そして21世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向、上記①・②についての基本的な事柄を，国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 実力課題

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。